



# 令和7年度 文京区立駕籠町小学校 学校経営方針

令和7年4月1日  
校長 宮本 達也

## kagomachi 2025 子どものための学校であること

### 校長としての取組み

- 0 日々、子どもとともに
- 1 日常的な危機管理意識の維持
  - 報告・連絡・相談・共有・確認を徹底する
  - ・ 「大丈夫だろう」×
  - ・ 「分かっているはず」×
  - ・ 「まあいいか」×
- 2 教員である前に社会人として
  - ・ 礼節ある態度 ・ 相手意識 ・ マナー
  - ・ 服装 ・ 率先垂範 ・ 凡事徹底
- 3 日々の授業の充実と指導力向上への努力への支援
  - 改善への努力を怠らない教師を育成する
  - 「これしかない」「これでいいのだ」×
  - ・ OJT、off-JT
  - ・ 学ばざる者に、教える資格なし
- 4 落ち着いた学校環境の整備
  - 教室及び校内環境の整備をすすめる
  - ・ 黒板 ・ 黒板下、床等
  - 静かな教室の雰囲気づくりをすすめる
  - ・ 仕事の効率、集中力、生活レベルUP
  - ・ 日々「仕分ける」「捨てる」「しまう」
- 5 公費及びコスト意識の高揚
  - ・ 子どもの側に立った積極的活用と管理
  - ・ 異学年と情報交換し可能な範囲で共有・共用
- 6 学校における業務の効率化
  - ～働き方改革への取組み～
  - 教育活動や業務の目的、優先順位を考える
  - ① やらなければならないこと → すぐやる
  - ② やったほうがいいこと → 計画的にやる
  - ③ やらなくてもいいこと → 即時検討・改善
  - ④ やらないほうがいいこと → やめる
  - 質を低下させず、スリム化する
  - メリットのあるICTの活用を進める

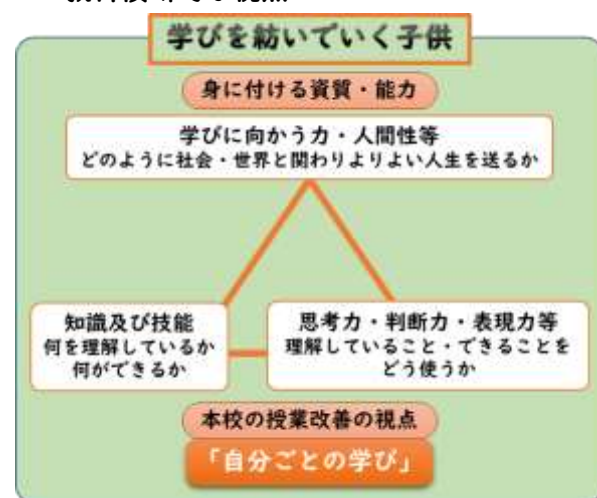
### 教育目標

自己を確立し、一人一人が輝き、心豊かに 未来を拓く駕籠町の子どもを育成する。

- ともに学ぼう より深く 高い知性を持ち 個性豊かな児童
- ともに伸びよう よりたくましく 明朗で 意志の強い 健康な児童
- ともに歩もう 力あわせて 社会性の身に付いた 実践力のある児童

### 確かな学力の向上

- 1 問題解決の過程を重視した授業
- 2 個の学びと集団の学びのバランス
- 3 確実な見取りの積み重ねと評価
- 4 教科横断的な視点



### よりよい授業の基本

授業規律（ルールとマナー）  
聞こえる声で応答（他者意識）  
ノート指導（めあて・振り返り、下書き）  
姿勢の保持  
一度では身につかない。継続し徹底する。

### 体力向上への取組み

- 1 運動の日常化・運動したくなる環境づくり
- 2 「めあてをもち振り返りを生かす体育科」への授業改善 → 年1回の授業観察
- 3 食育、保健指導・保健学習の工夫
- 4 望ましい生活習慣の定着化

### 豊かな人間性の育成

- 1 命と心の教育の推進
- 2 いじめ「見落とし」「見過ごし」「見逃し」ゼロ
- 3 不登校の未然防止・早期対応
- 4 「ならぬことは、ならぬ」の徹底
- 5 あいさつの励行

### かかわる力

- 1 自己理解と自己有用感
- 2 個々の困り感や願いへの適切な対応
- 3 「困った子」ではなく「困っている子」
- 4 「思考」を促す学級づくり

### 特色ある教育活動

- 1 日本の伝統文化に親しむ体験活動
- 2 地域を生かした教材の開発と授業実践
- 3 「自助・共助」の意識の醸成
- 4 危険予測回避能力を育む安全教育

### 教師の指導力

- 1 「教える授業」から「引き出す授業」へ
  - ・ 子どもが主体的に学ぶことができる授業を構築し、教師は「ファシリテーター」であることを心がけましょう。
- 2 全ての時間での本時の「ねらい」の提示と「振り返り」の重視
  - ・ なぜこれを学び、45分で何を身に付けるのか、子どもに目標が分かるようにしましょう。
  - ・ 45分で何を学び、何が身に付いたのか、子どもに振り返らせ表現させるようにしましょう。
- 3 自力解決できる環境整備
  - ・ 児童が自力で課題に取り組めるよう環境（資料、掲示、仲間など）を整えましょう。
- 4 学習環境の有効活用
  - ・ 子どもの育ちと歩み実感できる教室・廊下 掲示の工夫をしましょう。
- 5 学習規律と生活規律の明示・授業規律の浸透
  - ・ 駕籠町スタンダードを徹底しましょう。
  - ・ 学級内のルールを明確に示し、子どもにそのルールを守らせましょう。
  - ・ 指導後の見守り、行動の変容の確認を確実にして、指導を最後までやり切りましょう。
  - ・ 学年内交換授業で、学年経営の意識をもって子どもに指導しましょう。
- 6 どの子どもも同じ善悪基準
  - ・ ほめるときはしっかりとほめ、叱るときはしっかりと叱りましょう。
  - ・ 見て見ぬふりは、いい結果を生みません。
  - ・ 一時的な感情で怒らず、一呼吸おいて叱るようにしましょう。
- 7 日常からの授業改善と校内研究
  - ・ 教師の指導力向上には、日常の授業の一工夫を積み重ねることが最も大切です。
  - ・ 一人一人が子どもの学びに責任をもちましょう。じっくりとひとつの教材と自分自身に向き合い、その成果を常に公開しましょう。
  - ・ 学年内交換授業で、教材研究の時間を効率化しましょう。
  - ・ ICT活用法、教授法等ノウハウを蓄積し、教員間で共有し、互いに学び合ひましょう。
- 8 授業公開とOJT推進
  - ・ 学年を越えて学び合う教師集団であれ。
  - ・ 準備をして臨んだ授業が必ずしも「いい授業」とはなりません、準備をしないことは、論外です。

### 教職員の組織力

- 1 学校経営方針の具現化
  - ・ 自分なら何ができそうか、何をするのか、常に考え具体的な職務行動で表しましょう。
- 2 組織としての斉一性
  - ・ 「やりましょう」といったことが同じベクトル・同じレベルで「やれる」ようにしましょう。
  - ・ 学年・組織でよく相談して、教員によって対応に違いが出ないようにしましょう。
- 3 組織の一員としての意識と機動力の強化
  - ・ 「私は何者か」を常に意識してかわり、組織を活性化させましょう。
- 4 教育公務員としてのサービスの厳正（FBTの定期的な実施）
  - ・ サービス事故防止研修を実施するのは、職員がサービス事故を起こしてしまっは、守れなくなるからです。
- 5 保護者・地域との良好な関係づくり
  - ・ 礼節ある話し方を心がけましょう。笑顔を忘れず。
  - ・ 丁寧な対応を心がけましょう。迷ったらより丁寧な手段を選びましょう。

### 教職員の「カキクケコ」

- カ：感動と感謝の心
  - ・ 学校は、子どもに、保護者に、地域に「感動」を与え「感謝」の心をもつ
- キ：絆
  - ・ 職員同士は単なる仲良し集団でなく、ソウルメイトでありたい
- ク：苦労を糧に、苦情を知恵に
  - ・ 「苦情は宝の山」と考える
- ケ：健康第一
  - ・ エネルギーが有り余る子どもを受け止めるための健康を保持・増進する
- コ：子どものために
  - ・ 厳しい中にも、受容的態度を大切に

### 駕籠町小をこんな学校に

- 1 大人も子どもも学び続け、進化し続ける学校
- 2 落ち着いた学習・生活環境を保っている学校
- 3 振り返りから、改善を生み出せる学校
- 4 子どもに夢や期待をもたせる学校
- 5 教職員も子どもも生き生きと輝く学校